

Game Report

開催場所：東海大学九州

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 10 月 14 日(日)

試合時間：17：20～ CC：伊藤 彰二 FU：柿原 実 SU：井元 誠

九州産業大学	○ 9 7	22	—1st—	17	● 5 3	鹿屋体育大学
		20	—2nd—	17		
		26	—3rd—	7		
		29	—4th—	12		

第 1 ピリオド

鹿体大# 2 3 松井のジャンプシュートで試合スタート。序盤、九産大# 4 7 宮崎が 3 P シュートを決め流れを作ると、続けて得点を重ね、チームに勢いをつける。負けじと、鹿体大# 1 2 川尻が 3 P シュート、# 9 長谷川がシュートを決め、点差を縮めていく。しかし、九産大# 4 7 宮崎の勢いは止まらない。終盤、鹿体大はファウルがかさむも、粘り強いディフェンスを見せ、22-17 で九産大のリードで第 1 ピリオドが終了。

第 2 ピリオド

鹿体大# 1 2 川尻のフリースローで第 2 ピリオドがスタート。九産大は# 9 米須のアシストで得点に繋げていく。中盤、鹿体大# 2 櫻谷が連続でシュートを決め、堪らず九産大はタイムアウトを請求。その後、九産大# 1 8 大城の 3 P シュート、# 5 Jeremiah のとくてんで、流れを引き寄せる。終盤、鹿体大# 2 3 松井、# 3 2 久次が果敢に攻めるも思うように得点に繋げることができず、42-34 で九産大リードのまま前半を折り返す。

第 3 ピリオド

開始早々、九産大# 3 2 Anthony のシュートが決まる。対する鹿体大は# 9 長谷川、# 1 5 村上が 3 P シュートを狙うも得点につなげることが出来ない。九産大は# 3 2 Anthony を起点に果敢に攻めていき、鹿体大を突き放す。終盤、追いつきたい鹿体大は# 1 2 川尻、# 2 1 池浦が果敢にリバウンドに行き、シュートチャンスを作るも得点を伸ばすことが出来ず、68-40 と九産大が大きく差を広げ第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

鹿体大# 2 3 松井のシュートで第 4 ピリオドがスタート。点差を縮めたい鹿体大は# 1 2 川尻が積極的に攻め、ファウルをもらい得点に繋げる。中盤、九産大は# 3 3 比嘉、# 5 8 鈴木が得点を重ね、点差をさらに広げていく。勢いを止めたい鹿体大は残り 5：13、後半最後のタイムアウトを請求。タイムアウト後、鹿体大# 1 5 村上がバスケットカウントを奪う。しかし、九産大# 1 8 大城の 3 P シュートを始めに、次々と得点を重ねていき、流れに乗る。最後まで鹿体大は粘り強いディフェンスを見せるも、点差を埋めることが出来ず、97-53 で九産大が勝利を取めた。